



2022年11月7日

各位

会社名 株式会社サガミホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 伊藤 修二  
 (コード番号: 9900 東証プライム・名証プレミア)  
 問合せ先 執行役員管理担当 中島 康文  
 TEL. 052-737-6000

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	12,500	165	176	55	1.86
今回発表予想(B)	12,800	660	1,320	1,000	33.16
増減額(B-A)	300	495	1,144	945	
増減率(%)	2.4	300.0	650.0	1,718.1	
(ご参考) 前期実績	9,805	△561	451	363	12.63

(2) 2023年3月期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	25,000	300	320	100	3.39
今回発表予想(B)	25,000	500	1,150	650	21.55
増減額(B-A)	0	200	830	550	
増減率(%)	-	66.6	259.3	550.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	21,339	△620	2,253	1,192	40.46

### (3) 業績予想修正の理由

当連結会計年度第2四半期累計期間の業績予想につきましては、継続する原材料費や光熱費の高騰による業績への影響とともに、新型コロナウイルス感染症影響により、消費活動は一定程度、停滞するものと見込んでおりました。しかしながら、昨年までの感染症影響下における各種コスト改善及び生産性向上の取り組み成果が寄与したことに加えて、感染症影響による行動制限の解除に伴い、集客状況も回復傾向となりました。その結果、連結営業利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。それに加えて、営業外収益に計上する営業時間短縮に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等の助成金収入により、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表予想を上回る見込みとなりました。助成金収入に関する内容につきましては、本日公表の「営業外収益の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

また、通期の業績予想につきましても、集客状況の回復傾向は継続すると見込むとともに、各種取り組みの成果が寄与することを想定し、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表予想を上回る見込みとなりました。

しかしながら、地政学的リスクの高まりや各種コスト上昇幅の先行きが見通せず厳しい経営環境が続くことが予想されます。また、相次ぐコスト上昇による影響は、当社のみならず、お客様の家計負担の増加にもつながっていることから、少しでもお客様の負担を軽減するため、極力メニュー価格の上昇を抑え、お客様への提供価値及び企業価値の向上に努めていく方針といたしました。また、政府の主導する賃金上昇にも対応するべく、従業員の働く環境整備にかかる取り組みを合わせて検討しております。それにより、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績を下回る見通しとしております。

※上記の業績予想につきましては、発表日時点で当社が入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実績の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上